

目 次

はしがき

凡 例

第 I 部 原 論

第 1 章	社会福祉の原像	2
1	社会福祉は何を指すのか	2
2	社会福祉と関連領域	3
第 2 章	社会福祉サービスの原像	8
1	行為が不可能	8
2	判断が不可能——行為を選択することが不可能	9
3	判断過程に不適切・歪みがある	9
第 3 章	社会福祉の基本概念としての障害	11
1	「障害」とは何か	11
2	「障害」の規範的定義	13
3	「障害者」はいない？	13
第 4 章	社会福祉の法的人間像	15
第 5 章	社会福祉の権利・原理・あるべき社会福祉法	17
1	社会福祉の基盤としての国家責任と国民の権利	18
2	社会福祉の実践的な展開と権利	19

- 3 「あるべき社会福祉の法」 22
- 4 社会福祉のあるべき体系 24
- 5 社会福祉法の文献 26

第Ⅱ部 総論

- 第 6 章 わが国の社会福祉法制の歴史—— 30
 - 1 戦前～戦中 31
 - 2 戦 後 34
 - 3 社会福祉法学の発展 42
- 第 7 章 社会福祉の責任論—— 45
 - 1 社会福祉の責任主体 45
 - 2 社会福祉の法源（法的根拠） 45
- 第 8 章 社会福祉法の構造—— 52
 - 1 社会福祉法の全体像 52
 - 2 社会福祉法の構造の特徴 53
 - 3 支援を必要とする者（利用者） 54
 - 4 福祉サービスの形態 55
 - 5 福祉サービス供給主体 56
- 第 9 章 社会福祉サービスの供給法—— 62
 - 1 措 置 62
 - 2 契 約 63
 - 3 社会福祉契約論 64

4	あるべき社会福祉契約	66
---	------------	----

第10章 社会福祉の財政・費用負担 ————— 68

1	社会福祉の費用	68
2	福祉施設の建設	69
3	福祉施設の運営費	70
4	社会福祉の費用負担（自己負担）	70

第Ⅲ部 各 論

第11章 障害福祉法の体系 ————— 74

1	はじめに——障害福祉法の問題点	74
2	障害福祉の法規範	75
3	障害者総合支援法 （障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律）	78
4	障害福祉法の課題	88

第12章 高齢福祉 ————— 90

1	はじめに——高齢者福祉の問題点	90
2	高齢者福祉の道理	90
3	高齢者福祉の法体系	91
4	介護保険制度	93
5	高齢者福祉法の課題	103

第13章 児童福祉 ————— 105

1	はじめに——児童福祉の問題点	105
---	----------------	-----

2	児童福祉の道理	105	
3	児童福祉の法体系	106	
4	児童福祉法の概要	107	
5	児童福祉法の支援の体系	108	
6	児童が特別の状態にあり、扶養義務者の通常の扶養では 〈発達障害〉をカバーできない	113	
7	児童福祉の法の課題	116	
第14章	低所得対策・最低生活保障		118
1	はじめに——低所得保障の法の問題点	118	
2	貧困の原因	118	
3	低所得対策・最低生活保障の道理	119	
4	生活困窮者自立支援法	120	
5	生活保護法——最低生活保障・公的扶助	123	
6	関連制度	138	
第15章	権利擁護の法		144
1	社会福祉における権利擁護の道理	144	
2	社会福祉サービス事業者による権利擁護・苦情処理	145	
3	運営適正化委員会による権利擁護・苦情処理	145	
4	オンブズマン制度	145	
第16章	虐待法		147
1	虐待防止の道理	147	
2	虐待の現状	148	
3	虐待防止法制	149	